

賢い消費者になろう

経済学部経済政策講座 ◆ 石田 三樹

大学生になると、自分で自由にできるお金が多くなります。一人暮らしを始める場合は特にそうですが、それだけに危険が大きくなります。ここでは、クレジットカードの問題を中心に考えてみましょう。

問題

A君は、海外旅行で使ったクレジットカードの支払に困り、百貨店や信販系のキャッシングで急場をしのぐうち、借金が約五百万円になってしまった。

問題の解説

NTTのテレホンカードやJ.R.のオレンジカードがプリペイド（前払い）なのに対して、クレジットカードは後払いできるところに特徴があります。現金なしで電話をかけたなり買物ができるという点は同じですが、クレジットカードを持てば、最初に持っていた現金以上の買物ができます。クレジットカードは、会費を払えば比較的簡単に手に入れることができます。会費は、無料のものから年数万円のものまでさまざまですが、支払が後日でいい、海外旅行傷害保険等のサービスがある、利用額に応じた賞品ももらえる、などたいへん便利でお得なものではありません。

賢い消費者とは

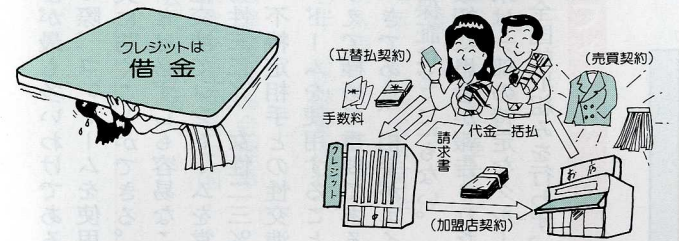
自分が支払える範囲の物しか買わないのはもちろんのこと、その中で支払うお金に見合う価値の物だけを買う人のことです。買いたいと思う物が、たとえば一万円より高ければ買わないが、一万円なら買う、でもできれば一番安いところで買いたいと思う。これが賢い消費者です。ただ、安いところを探して新幹線で東京へ行くというのはあまり賢くない。時間と労力も考えに入れないければなりません。

問題の解答

自分で注意して、問題に巻き込まれないようにするのが第一です。しかし、とにかく問題に巻き込まれたと思ったら、すぐ専門家に相談すること。これが究極の賢い消費者です。私たちが相談できる公的機関としては、たとえば広島県立生活センターがあります。

ご存知ですか？ クレジットのしくみ

- クレジットは“借金”です
- クレジットは、商品の代金をクレジット会社などに立替えてもらい、後で支払うことです



クレジットは借金  
クレジットは、商品の代金をクレジット会社などに立替えてもらい、後で支払うことです

といっても、クレジットは借金ですから、返さなければなりません。代金は一回払いだけでなく分割払いもできますが、この場合、金利がかかることはいままでもありません（実質年利一五％程度）。支払の期日になって、返すつもりでいたが返せない。こういう人のためにはキャッシングという方法があります。ただし、金利負担はさらに大きくなります（同三〇％程度）。

クレジットカードの会員になる

代金支払のためにキャッシングを利用する

一枚のカードキャッシングでは足りなくなり、別のカードでキャッシングをする

という具合に、A君のような多重債務者ができるわけです。問題は、自分の収入では支払えないような買物をして、借金の支払のためにキャッシングという、さらなる借金をすることです。

自分でしよう。

自己管理ができない人は、「いつもニコニコ現金払い」これに限ります。このほか、巷には、電話で「海外旅行のモニターに選ばれた」と呼び出し、英会話の教材を売りつけるアポイントメントセールス。「アンケートに答えて下さい」と声をかけてくるキャッチセールス。資格時代を背景に巧妙に誘う士商法、マルチ商法など、危険はゴロゴロころがっています。

プロフィール

広島県立生活センター  
電話（〇八二）二二二一五五三二

- ◆（いしだ・みき）
- ◆昭和三十四年三月生まれ
- ◆専門は国際金融論の基本問題
- ◆広報委員会委員